

# まちの財政状況 平成26年度決算

壮瞥町が実施するさまざまな事業は、町民の皆さんが納めた税金や国・道からの補助金、町債（借入金）などを財源として行っています。

平成27年9月10日開会の平成27年第3回定例議会において、平成26年度決算が認定されましたので今月号にてお知らせします。

**歳出総額は 49億1,677万1千円**  
(※一般会計・特別会計合計)

前年度比4.9%の増 (2億3,155万9千円増)

## ●一般会計

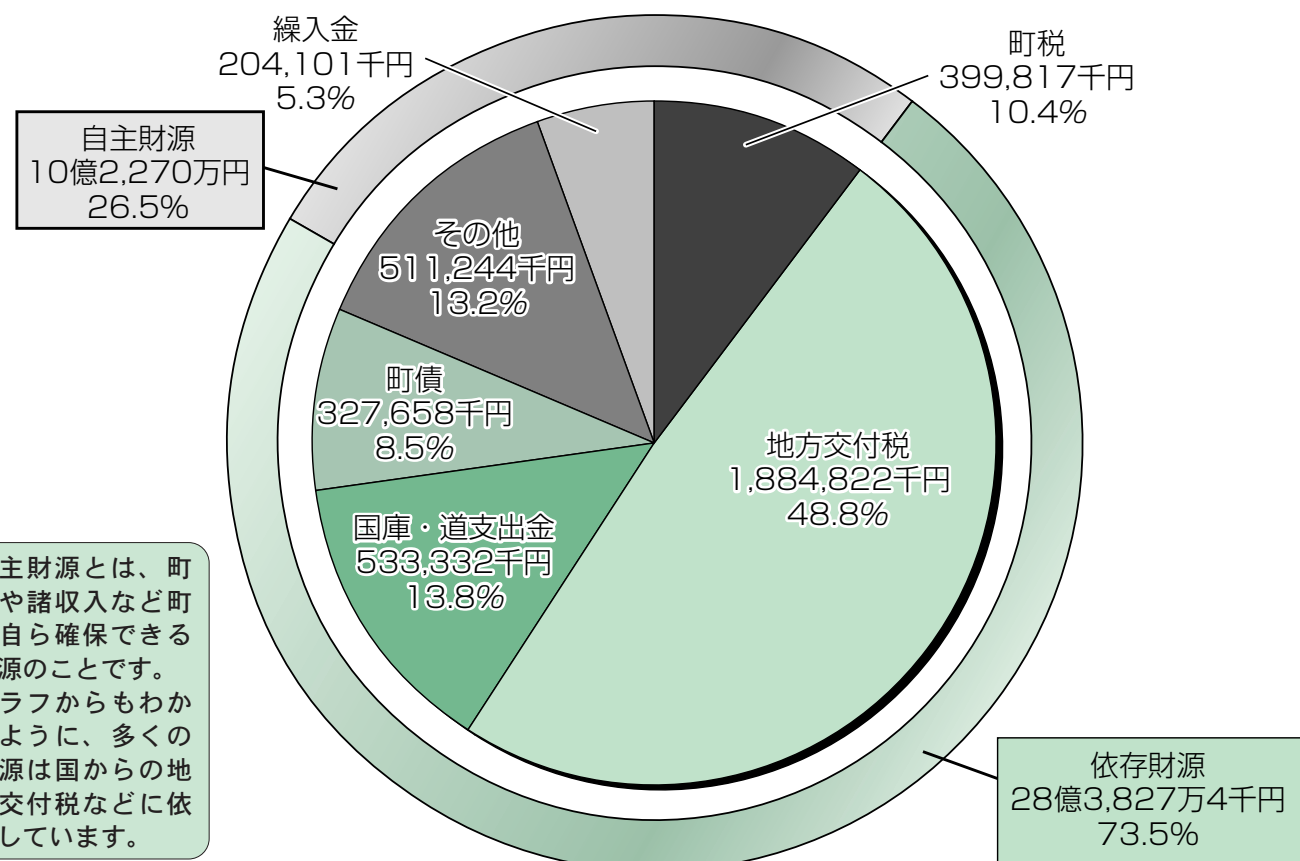
**歳入決算額 38億6,097万円(前年度比9.7%の増)**

平成26年度の歳入総額は38億6,097万円で、前年度と比較すると3億4,275万円の増額となっています。

歳入全体の主な増額要因は、子育て応援住宅の建設に伴う地方債の増加や財源不足を補てんするための財政調整基金などの繰入金の増加によるものです。

一方、町税のうち入湯税は観光客の入り込みが東日本大震災前の水準に戻りつつあり、前年度と比較して400万円の増(前年度比10.9%の増)となっていますが、町税全体では67万円の減額となりました。

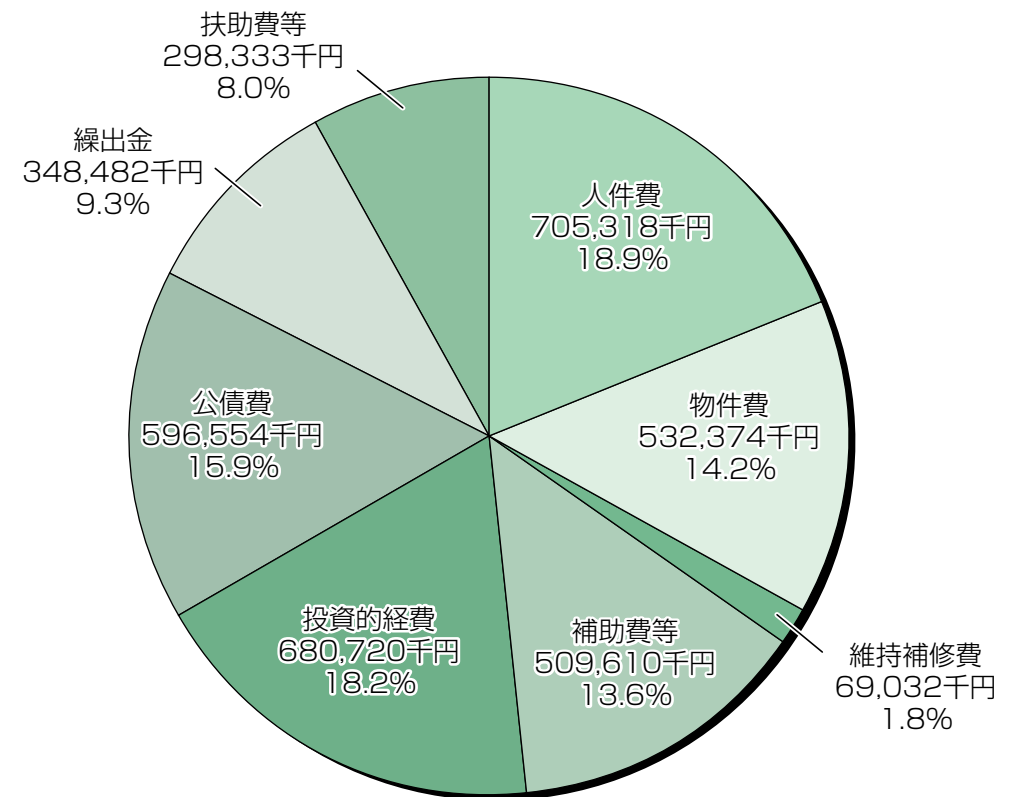
また、地方交付税と地方交付税の実質的な振替財源である臨時財政対策債の総額は、前年度に比べて5,620万円の減額(前年度比2.7%の減)となりました。



自主財源とは、町税や諸収入など町が自ら確保できる財源のことです。グラフからもわかるように、多くの財源は国からの地方交付税などに依存しています。

**歳出決算額 37億4,042万円(前年度比10.6%の増)**

平成26年度の歳出総額は、37億4,042万円で、前年度と比較すると3億5,998万円の増額となっています。性質別に平成25年度の決算と比較すると、人件費は、国からの要請を踏まえ、平成25年度に実施した平均3.26%の給与削減が終了したため増額になっています。補助費等も、胆振線代替バス車両更新費補助や高規格救急自動車購入の負担金等により増額となっています。投資的経費の増額は、主に子育て応援住宅の建設によるものです。公債費は減額になっています。これは平成21年度に終了したまちづくり交付金事業以降、数年間大型投資を控えたことに起因します。その他、扶助費の増額要因については、平成26年4月の消費税引き上げによる影響を緩和するために所得が低い方々に対して給付した臨時福祉給付金や、就労支援施設等の利用者の増加に伴う介護給付・訓練等給付事業費の増額によるものです。



※百分率の算出にあたっては、小数点第2位を四捨五入し小数点第1位表示としているためその和は必ずしも100%に一致しない。

## 用語解説

- 人件費**…職員の給料や議員、各種委員に支払う報酬など。
- 物件費**…町が業務を行うために必要な賃金や消耗品代や電気料金、賃借料など。
- 維持補修費**…町が管理する施設の効用を維持するための費用。
- 補助費等**…各種団体に対する助成金や負担金など。
- 投資的経費**…公営住宅や公共施設の建設、道路の新設など将来にわたり使用するものへの費用。
- 公債費**…借金の返済に充てるお金。
- 繰入金**…簡易水道や国民健康保険など特定の目的のために設けた特別会計に対して、一般会計から支払われるお金。皆さんから支払われた水道使用料や保険料などで事業を運営し、それでも不足する分は一般会計から補います。
- 扶助費等**…社会保障制度の一環として行う支援に要する費用など。

## ●特別会計の決算

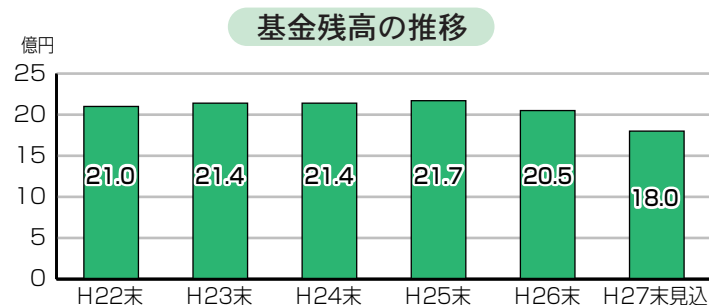
(単位：千円)

会計名	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	492,102	481,135	10,967
後期高齢者医療	43,476	42,630	846
介護保険	330,261	323,926	6,335
簡易水道事業	123,612	123,144	468
集落排水事業	205,056	204,633	423
壮警診療所	880	880	0

## ●基金残高の状況（※基金は家庭での貯金にあたるものです）

平成26年度は、特定目的基金の国際交流基金や国鉄胆振線代替基金等については、例年どおり各事業にかかる経費分の繰入を行いました。また、財政調整基金から1億517万円、減債基金から3,000万円を繰入しました。平成25年度の剰余金の1/2にあたる6,730万円を財政調整基金へ、その他にも特定目的基金への積立がありましたが、基金全体では1億1,924万円の減少となっています。

区分	平成26年度末
財政調整基金	6億586万円
減債基金	8,188万円
国際交流基金	3億9,225万円
国鉄胆振線代替基金	1億3,105万円
その他特定目的基金	3億9,664万円
備荒資金組納付金	4億3,899万円
合計	20億4,667万円



## 用語解説

【財政調整基金】とは、毎年度のやりくりのために積み立てているお金です。

【減債基金】とは、借金返済にあてるために積み立てているお金です。

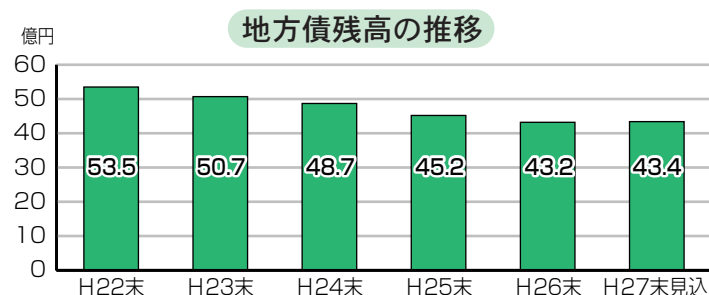
【特定目的基金】とは、福祉や教育など特定の施策に使用する目的で積み立てているお金です。壮警町では主に以下の基金があります。

- 国際交流基金…中学生フィンランド国派遣事業や英語指導助手招へい事業のための基金。
- 国鉄胆振線代替基金…国鉄胆振線廃止による代替交通機関であるバスの運行の一部負担や通学定期補助事業を行うための基金。
- 国民健康保険事業基金…国民健康保険事業を運営するための基金。など。

## ●地方債残高の状況（※地方債は家庭での借金にあたるものです）

地方債残高は、43億1,892万円で平成25年度との比較で2億579万円の減(前年度比4.5%の減)となっています。平成21年度で大型事業が終了し地方債残高は減少傾向にありますが、平成26年度から実施している子育て応援住宅の整備等により、平成27年度末の地方債残高は増加することが見込まれます。

区分	平成26年度末
公営住宅建設事業債	10億5,340万円
過疎対策事業債	15億3,302万円
臨時財政対策債	13億5,758万円
その他	3億7,492万円
合計	43億1,892万円



## ●平成26年度決算に基づく健全化判断比率等の公表について

健全化判断比率とは、その名のとおりまちの財政状況の健全度を示す比率です。毎年度の決算について比率を算定し、議会に報告するとともに公表することが義務づけられています。壮警町の平成26年度決算に基づく健全化判断比率と公営企業における資金不足比率をお知らせします。

### 健全化判断比率

健全化判断比率	壮警町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—※	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—※	20.0%	30.0%
実質公債費比率	13.0%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—※	350.0%	

※実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合は「—」と表示。

### 資金不足比率

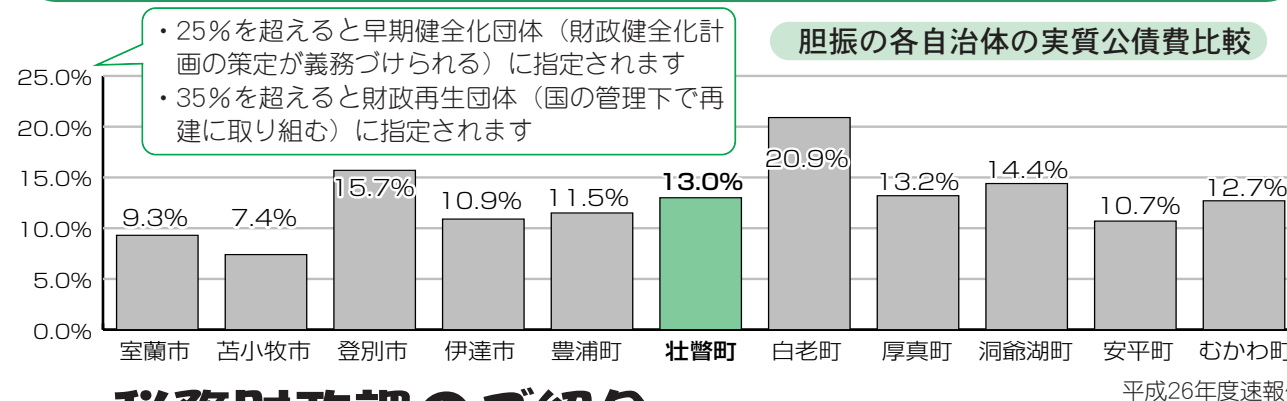
資金不足比率	壮警町の比率	早期健全化基準
簡易水道事業特別会計	—※	20.0%
集落排水事業特別会計	—※	20.0%

※各比率の「—」は、資金不足がないことを表します。

歳入のうち、税や地方交付税などの収入額のこと（標準的な税収入額+普通交付税+臨時財政対策債）

## 用語解説

- 実質赤字比率…一般会計の赤字が、標準財政規模に対してどのくらいの割合かを示します。
- 連結実質赤字比率…一般会計と特別会計（簡易水道や集落排水、国民健康保険などの事業の会計）の収支の合計の赤字が、標準財政規模に対してどのくらいの割合かを示します。
- 実質公債費比率…その年の歳出の中で、過去に行った借金の返済にまわっている部分がどの程度の大きさを見るための比率。この数値が高いほど借入金返済の負担が大きくなります。胆振の各自治体の比率を下記に掲載しました。壮警町は胆振の平均12.7%より0.3%高くなっています。
- 将来負担比率…町トータルの借金額を標準財政規模と比べて、その借金額が町にとってどれだけの重みのある借金額なのかを見るための比率。借金額には、将来支払が必要となる可能性が高い借金のものも含まれます。例えば、今後退職する職員に支払う退職金なども該当します。



## 税務財政課のご紹介



前列左から  
篠原主幹、上名課長、石塚主幹  
後列左から  
武岡係長、細川係長、大野係長

税務財政課は、町税の賦課、徴収に関することや予算の編成、町財政の計画調整、仲洞爺簡易郵便局の運営、地籍図の管理などの業務を行っています。

【お問い合わせ先】 役場税務財政課 (☎66-2121)